



## 日本史① (原始時代の日本)

12月①のごあいさつ

山内公認会計士事務所

2023年12月1日(金)

日本列島は、もともと独立しては存在しなかった。

約2,600万年前、アジア大陸の東側の突端部分が太平洋に突き出て、その中央に一つの内湖が出来た。100万年前に地球が第4紀地質年代、氷河期に入った時期に、気候の変化と海水の増加により、突き出た陸地が切離されるような状態で、18,000年前に朝鮮海峡が出現し、12,000年前に宗谷海峡によって西太平洋上に弧状列島として誕生したのが日本列島である。

日本列島近海には暖流が流れ、氷河期においても列島の低地地帯には植物も繁茂し、動物や原始人にとっても住みやすい環境であった。

約60万年～30万年前に、中国の周口店周辺は人類や動植物群の生存地となっていた。このような大陸の動物や原始人も彼等の狩猟活動の中で日本列島への流入があった。北海道から南下してきたと思われる北欧やシベリアの大型動物、中国北部の蒙古馬、野牛、ロバなどの動物群の日本列島への移動が見られて、それらの化石が残っている。

これらの旧石器時代の遺跡は、ほとんど日本全国に分布している。

旧石器時代の後期、原始日本人は既に火を用い、炉跡やそこで発見された土器や動物の骨などが残されている。

約10,000年前、日本は新石器時代へ入る。

新石器時代の遺跡の中からは、大量の草や花模様の陶器(縄文陶器)が発見されたことからこの時代は縄文時代とされている。

縄文晩期、西日本において原始的に農業が開始された。大量の農具、石斧、石鎌、石皿などや食器と併せ水田遺跡も発掘されている。これらの遺跡や技術からは、中国長江中下流域の技術が日本へ流入したことがわかる。

そして、紀元前3世紀頃、日本は弥生・文化時代へと入る。

集約的な農業と、青銅器と鉄器の使用が始まり、稲作の技術、冶金術などの新しい技術は朝鮮半島から徐々に伝わり、歴史は文明時代へ入る。漢の武帝は朝鮮半島に楽浪、臨屯、真番、玄菟の四つの郡を設け、中国漢文化が直接日本へ伝来し、日本の歴史に影響を与えることになる。

1784年、福岡県の志賀島で発見された漢委奴国王という金印は、紀元57年、後漢の皇帝が九州地方の国の王に授けたものと考えられている。

参考：(日本史史料集 山川出版社、日本通史 復旦大学出版社)